学校だより

10月

かわい

http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kawai/

平成３０年９月２８日

横浜市立川井小学校
校長　　藤田　優

～共に助け合える地域として～

校長　藤田　優

　まもなく前期が終了します。ここまでの学校教育へのご理解、ご協力に深く感謝いたします。終業式の日にわたす「あゆみ」が、子どもたちのこれからの成長を支える育ちの糧となることを期待しています。

「地域防災拠点訓練」
　11 月 11 日（日）に、地域防災拠点訓練が行われます。家屋が倒壊し、住むことができない場合は、地域防災拠点での生活となります。学校で行っている避難訓練では、毎回「死なないための訓練です」と緊張感をもたせて取り組んでいますが、実際の被災はどこで起こるか分かりません。地域で共に助け合う（共助）システムに、多くの方が参加していることが大事です。午前９時頃から行われます。子どもたちにとってもよい体験になりますので、ご一緒に是非ご参加ください。

〈災害用地下給水タンク〉
　川井小学校には、都岡中側に災害用地下給水タンクが設置されています。普段は水道管として使われ、新鮮な水道水が流れていますが、災害時には自動的に出入り口が閉まり、タンク内に飲み水を確保します。タンクから水を取り出すために、自分たちで臨時の蛇口を設置・操作します。その方法を、水道局の方の指導のもと学ぶことができます。地下タンクはこの近辺では、上白根中や今宿南小にしかなく、貴重な体験をすることができます。

〈ペット同行訓練〉
　愛犬・愛猫などのペットは、地域防災拠点に来ても体育館や校舎内に入れることはできません。しかし飼っている方にとっては大切な家族です。そこで、ペット同行の避難者を想定し、ペットの一時飼育場所を設定する訓練が行われます。

　他にも体育館の区割り訓練や、照明を投光するための発電機の取り扱い訓練、備蓄庫の食料を用いての炊き出しなど盛りだくさんです。
　川井町内会からは、いっとき避難場所が地図記載された「防災マップ」が出されています。すぐに学校に避難するのではなく、いっとき避難場所で近隣の方で安否確認や援助支援（助け合い活動）をおこない、そこから地域防災拠点に避難するという流れです。「川井地区防災マニュアル」にも載っていますので、ご確認ください。

２年「親守詩」に挑戦しました

道徳の授業で､｢子供の成長を祝う日本の行事｣を通して､育ててくれた人への感謝の気持ちについて学びました。

授業の前半では、子供の成長を祝う日本の行事は０歳から１歳までにたくさんあることを押さえ、お七夜、お宮参り、お食い初めなどをクイズ形式で学習しました。そして、それらの行事をしていてもしていなくても、「お家の人は、みんなを大切に大切に育ててきたのだよ。」ということを確認しました。

授業の後半は、親への感謝の気持ちを表す「親守詩」を作成しました。

親守詩とは、短歌の一つで、上の句（五七五）は、子どもが作ります。それを受けて、親などが下の句（七七）をつくります。授業中には、例を参考にしながら子どもが上の句を作りました。その後、保護者のご協力により、多くの親守詩が提出されました。心が温まる作品、つい笑ってしまう作品など、素晴らしい作品の数々です。この場を借りて、一部の作品をご紹介いたします。

（子）お母さん
いつも笑顔が
すてきだよ
（親）あなたが笑顔
くれるからだよ

（子）お父さん
いつもお仕事
ありがとう
（親）休みの日には
優しくしてね

（子）お母さん
いつもご飯が
おいしいよ
（親）好ききらいせず
たくさん食べてね

（子）お父さん
ときどきだっこ
ありがとう
（親）成長すれば
腰いたくなる

（子）お母さん
いっぱい勝つよ
オセロゲーム
（親）私も負けない
人生ゲーム

３年　長縄大会に向けて

１０月初旬に行われる長縄大会に向けて、各クラスで練習に取り組みました。１組は「クラス新記録」「心をひとつに」を、２組は「みんなで声をかけ合って、100 回とぼう！」を目標に中休みや体育の時間に練習しました。初めはうまくタイミングがつかめず、跳べないことがありましたが、練習を重ねるうちにスムーズに連続跳びができるようになってきました。また跳べない子がいた時には、優しく「ドンマイ」と自然に声かけができるようになりました。この活動を通して、クラスのまとまりを感じることができました。

れんしゅうでは、みんなで声をかけあっています。心を合わせてとびたいです。

れんしゅうでは、まん中でとぶことをいしきしてがんばっています。本ばんでは、声をかけ合いきょう力して長なわ大会をせいこうさせたいです。

４年　資源循環局旭工場

９月１８日（火）に社会科の学習で資源循環局旭工場に見学に行きました。普段、自分たちが出しているゴミが、どこに向かい、どのように処分されているのか、問題意識を持ちながら見学していました。子どもたちは、想像以上の規模の大きさに驚いていました。

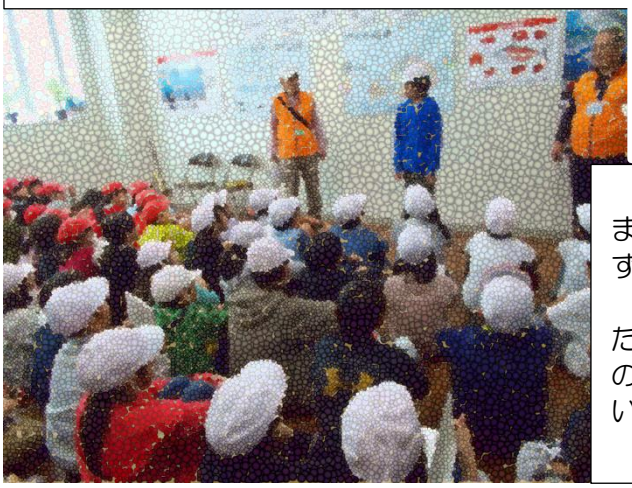
最終処分場を長く使うために、リサイクルに気を付けたり、ゴミを減らしていけたらいいです。
また、分別やまだ捨てなくてもいいものなどのことを意識したいです。3R をこれから続けられたらいいと思います。

資源循環局旭工場では、２４時間ずっと、それも毎日動いているのはびっくりしました。
しかも、交代しながら２４時間監視していて、すごいと思いました。燃やすときは８５０℃～９５０℃になると聞いて、これも驚きました。いろいろなものを見て、これからは分別に気を付けて生活したいと思いました。

５年　三浦宿泊体験学習

９月 21 日（金）～22 日（土）の２日間で三浦宿泊体験学習に行ってきました。あいにくの天候で、一日目の磯辺ハイキングはできませんでしたが、砂絵体験をしたり、浜辺を散策したりと充実した時間を過ごすことができました。子どもたちは、自分たちで活動を作り上げていくことへの達成感を感じていました。また、集団としての課題にも向き合い、成長しようとする姿が見られ、大切なことをたくさん学んだ体験学習になりました。

いかだ体験では、みんなで協力しながら、楽しく遊んだり、話したりしました。
二日間を通して、自分もみんなも「聞く力」が身についたと思います。この成長を色々なことに生かしていきたいです。
とても良い経験ができた三浦宿泊体験学習でした。



カヤックの日は波が高く、少し不安でした。けれど、みんなに励まされて、乗ってみたらすごく楽しかったです。これからは怖がらずに挑戦していきたいです。
私の三浦宿泊体験学習でのめあては「人の話を聞くこと」でした。海でのルールや部屋の片付けなど、しっかりふれあいの村の人の話が聞けました。来年の日光では、宿泊先のルールを守って楽しい修学旅行にしたいです。